

女子サッカーW杯カナダ大会が終った。まずは2大会連続の決勝進出を果たした日本代表なでしこたちの奮闘を称えたい。中でも無失点でW杯デビューを果たした身長187センチのGK山根恵里奈選手の印象が強烈だ。ひときわ目立つ長身を生かし、身長170cm以上の選手が9人以上いるスイスのクロスをはね返し続けた。何せ187cmというのは本大会の出場24カ国全選手の中で最長身タイ、日本男子代表のGK川島選手より2センチも高いというから驚く。佐々木監督が高身長ぞろいの海外勢向けに“秘密兵器”として起用した。

しかし、意外にも山根選手は「サッカーはやりたくて始めたわけじゃない」と振り返る。小学校に希望していたバレーボール部がなく、「たまたま勧められた」のがきっかけだ。長身にコンプレックスもあった。2004年に日本協会が女子中学生を対象に始めた、将来の代表GKを発掘する「スーパー少女プロジェクト」の1期生に選ばれ頭角を表す一方で、1つのミスで落ち込んだり、波のあるプレーで伸び悩んだりした時期もある。それでも彼女は自身を鍛え続け、ついに大舞台で活躍し、長く期待をかけてきた佐々木監督は「やっとこの日が来た」と喜んだ。まるで父と娘のような彼らの二人三脚ぶりを見て、

「すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。」

しかし後になれば、それによって鍛えられる者に、平安な義の実を結ばせるようになる。」

ヘブル人への手紙 12章 11節：口語訳、

と記された聖書の言葉を思い出した。世の中は自分の思い通りに行かないことが多い。やっとの思いで何かを始めても続けていくのは至難の業だ。だが覚えよう。父である神があなたを導いて下さることを。誰でもキリストの聖霊によるコーチングに継続して従う先には、必ず秘密兵器となって大舞台に立つ時が来ることを。

2015-7-31

